THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
発行所　日本農業新聞
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2番3号
www.agrinews.co.jp
2023年（令和5年）
3 22
水曜日

農村と都市の共生 多彩な実例紹介
心の豊かさ見つめ直す
北大農学部・林客員教授 新著発刊

北海道大学農学部の林美香子客員教授は、新著「《農都共生ライフ》がひとを変え、地域を変える」を寿郎社から発刊した。移住、地域支援型農業（CSA）など、国内外の農村と都市の共生の実践事例を掲載。新型コロナウイルス禍などの影響で人々の価値観や農村環境が変化する中、都市生活者と農村の関わり方などを考察した。

新著を紹介する林客員教授（札幌市で）

林客員教授は農村と都市の共生をテーマに研究してきた。これまでも「農業・農村で幸せになろう」などのテーマで著述してきた中、新型コロナやウクライナ侵攻をきっかけに新たに執筆した。「家庭の時間を大切にしたい」など日本人の労働観の変化を感じ、農業となじみの薄い都市生活者らに向けて改めて、農的暮らしの魅力などを発信することにした。

第一章では、日本のグリーンツーリズム活動の基礎知識を解説。第二章では、農家が地域住民と営農しながら支え合う農業経営を示す「CSA」の概要と先進事例をまとめて紹介した。札幌市のファーム伊達家を取り上げ、CSA活動継続の鍵などを説明した。

第三章では国内外の農都共生による地域活性化の取り組みとして、釧路管内鶴居村の農泊、上川管内鷹栖町の元営業マンの米作りなどを紹介。第四章は「農都共生ライフ」に向け、農業・農村と〝自分なりの接点〟を持つための提言をした。

林客員教授は「農業者にとっても、心の豊かさを重視する『ウェルビーイングな暮らし』の観点で、農業、農村の魅力を見つめ直す機会になってもらえればうれしい」と執筆の思いを話す。

四六判196ページ、2200円。